

小倉都心部 まち歩きマップ

ゆったりんびり、
歴史と文化の散歩道。

長崎街道ギャラリー

小倉のD.C.Q.タワー建設時に行われた発掘調査で、武家屋敷跡、町屋跡の井戸などが発見されました。タワー1階北側のウィンドウには、陶磁器から玩具まで、各時代の景観が感じられる多くの出土品が展示されています。

八坂神社

元和3年(1617)、小倉城主の堀川忠興が神物御厨に薬師堂を祀りました。明治時代に八坂神社と改称し、昭和6年(1931)に小倉城内の現在地に移設。忠興の眞傳平庭石願の石造燈籠や鳥居は指定文化財です。

安国寺

足利尊氏が全国に建立した寺の一つ。境内には伊達宗興の墓や松尾芭蕉の句碑があります。第27代将軍・玉水徳俊は小倉に在住した森岡外と縁交を結び、「二人の妻」(独身)にも「安国寺さん」「安国寺さん」の名で登場します。

小倉城

鹿造りの名城として名高い小倉城は、慶長7年(1602)に細川忠興が築城。昭和34年に再建された天守閣は、小倉や小倉のシンボルです。約5万坪に及ぶ野面積みの石垣は忠興の自慢の一つであったといわれています。
 ① 小倉北区内21 ② 093-561-1210
 ③ 9:00~18:00(4~10月) ④ 無休
 9:00~17:00(11~3月)
 ※入館は開館の30分前まで
 ⑤ 350円(中高生200円・小学生100円)

岩松翁顕彰櫓

幕末、長浜(小倉北区)の岩松翁左衛門は、小倉沖で相次ぐ船難を受け、私財を投じて灯台建設を目指しました。事業はもともと明治政府が引き継ぎ、明治6年(1873)に完成。顕彰櫓は翁の偉業を伝えるものです。

小倉城庭園

細川時代は東家屋敷、小笠原時代は藩主別邸があった庭園は、江戸時代に大名庭園と武家の書院とに建てられました。六角形の石灯のそとに、小倉城の歴史を伝える「小倉日記」の扉が刻まれています。
 ① 小倉北区内1-2 ② 093-582-2747
 ③ 9:00~18:00(4月~10月) 9:00~17:00(11月~3月)
 ※入館は開館の30分前まで
 ④ 無休 ⑤ 350円(中高生200円・小学生100円)

大門跡

室町から幕府へと向かう最初の門で、今の西小倉駅前になりました。近年の発掘調査で、門の礎石や扉石の石垣が出土。現在では歩道に透明板が張られ、地上から遺跡の一部を観察することができます。

旧小倉警察庁舎

明治23年(1890)に竣工した旧小倉警察署の庁舎で、昭和3年(1928)に警署一丁目に移転するまで使用されました。建築年代が明らかなのは、境内に古くは庁舎建築で、国登録有形文化財です。

常盤櫓

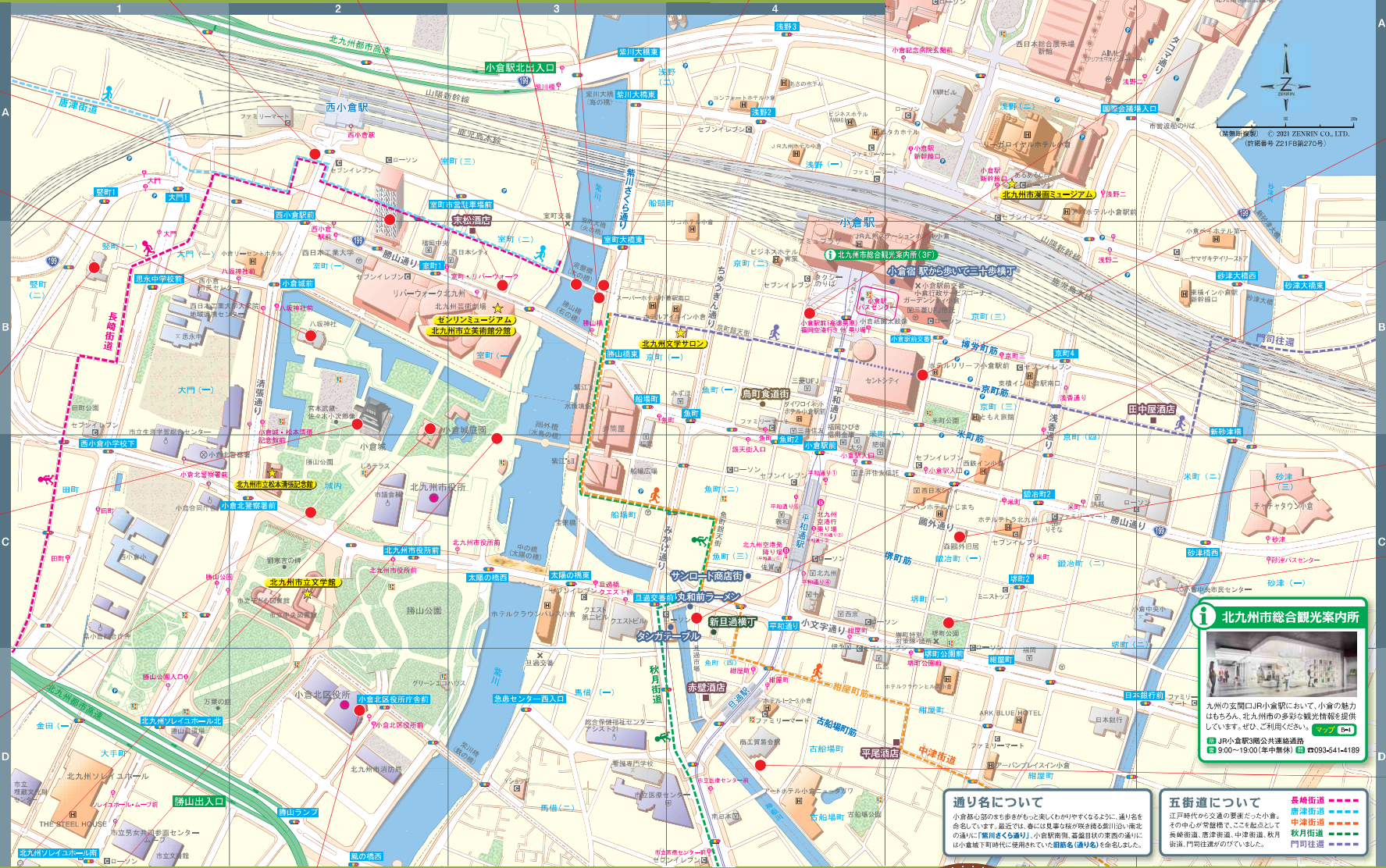
細川時代(江戸時代初期)に地下の西面輪と奥川東側の東面輪を結ぶ橋として架設されたといわれています。小倉から九州各地へびる「五街道」の起点で、九州の要所、城下町小倉の中心として賑わいました。

伊能忠敬顕彰碑

忠敬は寛政12年(1800)、55歳で土地の測量を始め、日本全国の測量と地図の作成という偉業を成し遂げました。九州では小倉の常盤櫓が測量の第一歩となったことから顕彰碑が設置されています。

広告塔

明治中期から昭和20年代までこの地にあった塔を近年、小倉再発見の機を捉え、森岡外も小説「残身」の中で「常盤櫓の柱に筒が立っている。これに広告を貼り付けるのである」と記しています。



北九州市総合観光案内所

九州の玄関口JR小倉駅において、小倉の魅力はもちろん、北九州市の多彩な観光情報を提供しています。ぜひご利用ください。
 ① JR小倉駅前3階公共連絡通路 ② 9:00~19:00(年中無休) ③ 093-541-4189

通り名について

小倉都心部のまち歩きがよりわかりやすくなるように、通り名を命名しています。最近では、春に花見する桜が咲き誇る奥川沿いの通りに「奥川さくら通り」、小倉駅前、森岡忠興の東西の通りに小倉遺跡中期時代に使用されていた「常盤櫓(通り)」を命名しました。

五街道について

江戸時代から交通の要所だった小倉、その中心が常盤櫓で、ここを起点として長崎街道、唐津街道、中津街道、秋月街道、門司街道が伸びました。

- 長崎街道
- 唐津街道
- 中津街道
- 秋月街道
- 門司街道

森岡外京町住居跡碑

寛和37年、森岡外生誕100年を記念して、江戸時代に築かれた大名庭園と武家の書院とに建てられました。六角形の石灯のそとに、小倉城の歴史を伝える「小倉日記」の扉が刻まれています。
 ① 小倉北区内1-2 ② 093-582-2747
 ③ 9:00~18:00(4月~10月) 9:00~17:00(11月~3月)
 ※入館は開館の30分前まで
 ④ 無休 ⑤ 350円(中高生200円・小学生100円)

森岡外京町住居跡碑

寛和37年、森岡外生誕100年を記念して、江戸時代に築かれた大名庭園と武家の書院とに建てられました。六角形の石灯のそとに、小倉城の歴史を伝える「小倉日記」の扉が刻まれています。
 ① 小倉北区内1-2 ② 093-582-2747
 ③ 9:00~18:00(4月~10月) 9:00~17:00(11月~3月)
 ※入館は開館の30分前まで
 ④ 無休 ⑤ 350円(中高生200円・小学生100円)

小倉祇園太鼓(山車)

小倉祇園太鼓(国指定重要無形民俗文化財)は江戸時代から続いている。当時の伝統を色濃く残す5台の山車が今も保存されており、小倉祇園祭時に、大町山車(1889年建造)が展示されています。

城下町ゆったりコース

長崎街道に沿いながら、城下のさまざまな史跡や旧跡をたどるコースです。多彩な歴史の遺産や、小倉のまちのシンボル「小倉城」に出会えます。
 所要時間 2時間(うち徒歩約40分) 距離 約3km

START

- 小倉駅 約1分
- 小倉城跡 約3分
- 森岡外京町住居跡碑 約1分
- 伊能忠敬顕彰碑 約1分
- 常盤櫓 約1分
- 旧小倉警察庁舎 約3分
- 小倉城跡 約3分
- 小倉城 約2分
- 小倉城跡 約2分
- 巨港市場 約10分
- 無法松の碑 約8分
- 森岡外京町住居跡碑 約7分
- 小倉駅 約7分

おすすめ観光コース

どなたのコースも北九州市の地域情報ポータルサイト「G-motty」へGo!

まちなか文学散歩コース

小倉の繁華エリアを文学がたどるコースです。明治の文豪・森岡外をはじめ、女性作家・杉田久女や松本清張など、北九州ゆかりの文学者にまつわる施設をご紹介します。
 所要時間 2~3時間(うち徒歩約60分) 距離 約4.5km

START

- 小倉駅 約1分
- 小倉北区内1-2 約6分
- 森岡外京町住居跡碑 約10分
- 杉田久女句碑 約10分
- 無法松の碑 約10分
- 森岡外京町住居跡碑 約10分
- 北九州市立文学館 約2分
- 万のの底 約4分
- 劉雲音の碑 約4分
- 松本清張文学館 約3分
- 小倉城跡 約8分
- 常盤櫓と広告塔 約8分
- 北九州市立文学館 約2分
- 森岡外京町住居跡碑 約4分
- 小倉駅 約2分

森岡外京町住居跡碑

障外は、御泊町の家で約1年半を過ごした後、明治33年(1900)に京都のこの場所に引越。同35年小倉へ帰郷しました。住居はこの碑の位置(京町二丁目五百四十四番地)にありました。

参勤交代往還路

江戸時代、参勤交代の九州諸大名は常盤櫓周辺の本陣で休泊した後、京町を過ぎて門司の太宰府へ向かい、江戸を目指しました。往路が常盤櫓境内を駆け抜けるため、その東面入口の前歩道に表示しています。

且過市場

魚屋をはじめ、八百屋、果物屋、肉屋、惣菜屋の軒先には北九州の各産品の名が、かつて参勤交代の小倉旅籠の客が食べたものが、門前の修徳庵の宿泊客「且過客」と呼ばれていたこと由来です。

森岡外旧居

明治の文豪、森岡外が明治32年(1899)に旧居を建てた北九州市東区森岡外。日本の名作、約1年半を過ごした旅籠を修復したものです。この家を舞台にした小説に「菊」があり、ここ「即興詩人」の名跡も生まれました。
 ① 小倉北区内17-2 ② 093-531-6004 ③ 10:00~16:30
 ④ 月曜・祝日 年中無休 ⑤ 9:00~17:00
 ※月曜日の場合は翌日も休館

杉田久女句碑

大正、昭和前期に小倉に住み、女性俳句の草分けとして活躍した俳人・久女の顕彰碑。華麗で官能的な浪漫的な句を、俳誌「ホトギス」主宰の高橋千子に「浪漫高橋」と評しました。

無法松の碑

「無法松」は、小倉を代表する作家・岩下俊作の小説「無法松五郎伝」の主人公。無法松の一生のタイトルをたびたび映画化されたことで、小倉の「城下太鼓」と「無法松」は全国に知られるようになった。